



## 気持ちも新たに 一人一人が活躍する3学期に！

明けましておめでとうございます。保護者の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。旧年中は、境西中の教育活動にご協力いただき、ありがとうございました。

いよいよ3学期になりました。3年生はすでにこの休み中に私立高校の入試を受験した生徒もあり、一人一人が希望する進路を実現するために、張り詰めた日々を送っているかと思います。卒業式に向けてのカウントダウン(63日)も始まりました。また1、2年生は三学期を次の学年のゼロ学期として、進級に向けての総仕上げをしていかなければならない時期です。

この3学期は、これからの時代を生きていく皆さんにとって必要な力・・・『自律』・『共生』を意識して欲しいと思っています。「自律」は、自分で判断し、自分で決定して、自分から行動すること。「共生」は、周りの人の違いを認め、自分も含めてすべての人を大切にすることです。この二つはすぐには身に付くものではありません。たくさんの経験や失敗を繰り返しながら少しずつ身に付いていくものです。まずは、日常生活の小さなことから実行してみましょう。＜与えられることに慣れない＞誰かにやってもらったり、用意してもらってばかりだと、自分で考えたり、決めたりできなくなる。そして、うまくできないことがあると人のせいにしてしまう、そんな自分になってしまう。自分ができることを探してやってみよう！ やってもらっても当たり前と思わずに「ありがとう」という感謝の気持ちを忘れずに！

職員一同誠心誠意、生徒たちが思いを果たし、成長する姿を見届けられるように、見守っていきたいと思います。今年もどうぞよろしく願いいたします。

————— 力を合わせて乗り越えよう！

————— 自分事として震災を捉え、防災について考えよう



能登地方を震源とする令和6年能登半島地震によりお亡くなりになられた方々に謹んでお悔やみ申し上げますとともに、被災された皆さまに心からお見舞い申し上げます。被災地域のみなさまの安全確保、そして一日も早い復旧・復興を衷心よりお祈り申し上げます。

全国高校サッカー選手権、石川県代表：星稜高校は能登半島を襲った大地震の影響で地元が大きな被害を受けた。このため対戦相手の市船橋(千葉県)の選手たちが試合前、グラウンドで2文字ずつ書かれた

紙を持ち「力をあわせて乗り越えよう」というメッセージ掲げました。

また星稜の応援団は地震の影響により、出発中止となってしまった。星稜を応援していたのは、ベンチ外となったサッカー部員や保護者だけでなく、31日に選手権で敗退した日大藤沢(神奈川)、第2試合の名古屋(愛知)と岡山学芸館(岡山)など、他校の選手や保護者らが加わった即席の応援団だった。日大藤沢の応援団長、副団長らが前日(1日)夜、佐藤監督に「こういうときこそ、何かできないですか」「星稜の応援をしたい」と提案。佐藤監督がすぐさま学校長や日本サッカー協会、高体連などの許可を取り付けた。名古屋の山田監督によれば、「昨日の夜の段階から生徒から申し出があった」そうで、生徒主導で自発的に応援団が結成されていったとのこと。

スポーツ(サッカー・駅伝等)の素晴らしさ(力)を痛感したお正月でした。多くの苦難に立ち向かい挑み続けるアスリートの姿は、被災地の人にとって希望であり、勇気を与えてくれます。そして「自分でできることは何か？」と考え行動を起こした高校生の姿に勇気と感動をもらいました。